

# 渡島管内における感染状況と地域の取組

## 1 最近の感染状況

- 管内（函館市を含む）の新規感染者は9月27日にゼロ、それ以降は0～3人。
- 道南圏の宿泊療養施設は10月11日に入所者ゼロ。今後の感染状況により必要に応じて速やかに稼働できる体制を維持。

## 2 感染拡大防止に向けた主な取組

### 取組Ⅰ 地域住民向け

- 感染防止対策の徹底について呼びかけ
  - 函館市との**共同メッセージ**（地元FM、ケーブルTV）
  - 管内住民に対する啓発**（コープさっぽろ、SNS）



官民連携で制作した動画

### 取組Ⅱ 事業者向け

- 業界団体に対し、**感染防止対策の内容について周知徹底**
  - 併せて職場内での感染拡大防止対策徹底などの協力を依頼
- **第三者認証制度の円滑な周知等**

### 取組Ⅲ 若年層向け

- 官公庁や企業など18団体と制作した**啓発動画を公開(9/17)**
  - 各参加団体が拡散に協力
  - 地元ケーブルTVが自社番組のCMに活用
  - 出演者がパーソナリティを務めるFM番組でPR
- **若者の積極的なワクチン接種の促進**

**ワクチン接種は健康、命を守ります**

新型コロナウイルスに感染した若者の大半が軽症で済みますが、38度を超えるような高熱を出し、咳が2週間続いても「軽症」に分類されます。また、今も嗅覚（におい）や味覚（あじ）の障害、疲労感、記憶障害などの長引く症状（いわゆる後遺症）に苦しんでいる若い人がいます。

**感染症のリスクと比べると、ワクチン接種の意義が見えてきます。**

**■ ワクチン接種のメリット**

- ワクチンを接種することで、感染や発症の確率を大きく減らすことができ、感染・発症しても、症状のある期間が短くなったり、重症化を防ぐ効果が期待できます。
- ワクチンを接種することで、感染しにくくなる効果が知られています。同居する家族や日常的に接する友人、同僚を守る効果が期待できます。
- いち早くワクチンが広がり、感染する人が減れば減るほど、変異ウイルスが誕生する確率を減らすことができます。

**■ リスクの比較**

<b>■ 感染してしまうと…</b> 軽症でも38度以上の高熱や咳が2週間続くほか、重症化や長期にわたり後遺症のリスクもあります。 若年者が新型コロナウイルス感染症にかかった場合、ワクチンを接種した場合よりも、はるかに高い頻度で心筋炎がみられます。	<b>■ ワクチン接種によって…</b> 注射部位の痛み、倦怠感、頭痛、筋肉痛、寒気、発熱などの症状が出るリスクがあります。 こうした症状は、若い方に多い傾向にあるようですが、ほとんどが2～3日以内に回復しています。 心筋炎のリスクが報告されていますが、頻度は極めて発生した人でもほとんどが軽症で経過しています。
--	---

**感染防止には、手洗いやマスクの着用など基本的な感染対策も重要です。**

出典：厚生労働省HP「若者のワクチン接種、メリットとデメリットの考え方」  
要約：北海道渡島総合振興局  
詳細はこちら→

北海道渡島総合振興局

若者向けリーフレット